

作成日 2026 年 2 月 27 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号： 受付-46870

課題名：三次元統合画像法を用いた口唇裂・口蓋裂患者における口腔粘膜厚、骨厚および臨床安全域の観察研究

1. 研究の対象

2025 年 1 月 1 日～2029 年 9 月 30 日に当院顎口腔機能治療部で矯正歯科治療を行ない、歯科矯正用アンカースクリューを植立した方

2. 研究期間

2026 年 7 月 (研究実施許可日) ～2030 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2026 年 8 月 15 日

提供開始予定日：該当なし

4. 研究目的

通常の診療で撮影された CT 画像と、お口の中をスキャンしたデータを組み合わせて、口唇裂・口蓋裂のある方の歯茎やあごの骨の厚みを、立体的に詳しく調べます。特に、裂け目がある側とない側で、歯茎や骨の厚みにどのような違いがあるのかを明らかにすることを目的としています。この結果は、将来の矯正歯科治療やかぶせ物などの治療、あごの骨を移植する手術を、より安全に行うための基礎的な資料として役立てられます。

5. 研究方法

CT 画像とお口の中をスキャンしたデータを重ね合わせて、歯茎の表面からあごの骨までの厚みや、骨そのものの厚みを、専用のコンピュータソフトを使って三次元的に測定します。主な解析では、片側だけに口唇裂・口蓋裂がある方について、裂け目がある側とない側の違いを比較します。また追加の解析として、口唇裂・口蓋裂のない方と、片側または両側に口唇裂・口蓋裂がある方との違いについても比較・検討を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、生年月日、イニシャル等

試料：CT、口腔内スキャナー、口腔内模型、口腔内写真、レントゲン写真（セファログラム）データ等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究において開示すべき利益相反はありません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者に不利益が生じることはありません。

当機関における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院学口腔機能治療部 西村 壽晃

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-8277

kazuaki.nishimura.e3@tohoku.ac.jp

当機関の研究責任者：東北大学大学院歯学研究科頭蓋顔面先天異常学分野・西村壽晃

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1) 以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合